

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-202)

提出日 平成 19 年 3 月 6 日

(1) イベント名

ICT利活用セミナー2007 ～ 「超高速回線を活用した地域映像流通の未来」 ～

(2) イベント概要

目的：「北海道における地域映像活用調査検討会」における検討に資するため、地域におけるICT基盤(地域公共ネットワーク、CATV等)を地域間で効果的に相互接続し、映像コンテンツを流通させる将来的なモデルを試験的に構築し、実際に高品質映像を伝送させ教育環境等での活用に関する実証試験を実施する。

さらに、この接続環境を用いたパネルディスカッションにより、地域映像コンテンツの活用方策や地域連携モデルについて検討する。

日時：平成18年2月14日(水) 13時30分～16時30分

会場：岩見沢市新産業支援センター

主催：北海道総合通信局

後援：岩見沢市、松山市、北海道JGN II利用連絡会、北海道テレコム懇談会

参加者：174名

内訳：岩見沢会場 一般66名、小学生20名、教師2名、保護者4名
内訳：松山会場 一般5名、小学生42名、教師3名
内訳：大分会場 小学生30名、教師2名

利用方法 JGN IIにより、愛媛大学、大分ケーブルテレコム、岩見沢市を接続。

プログラム：

13:30～ 主催者あいさつ及び「北海道における地域映像活用調査検討会」概要説明
北海道総合通信局情報通信部長

13:35～ プログラム1(遠隔交流授業)

北真小学校(岩見沢市)、大分市立横瀬小学校(大分市)及び東雲小学校(松山市)の各小学校の紹介及地域映像による交互交流授業

14:40～ プログラム2(遠隔パネルディスカッション)

討論内容：「ネットワークを利用した映像コンテンツの活用方策」

・黄瀬 信之(岩見沢市 経済部 主査)

岩見沢市内の各教育機関を接続した地域公共ネットワークにより映像コンテンツを伝送し、その映像を用いた授業の取り組みについて紹介。

・伊東 肇(榊帯広シティーケーブル 常務取締役)

自社で作成した番組がNHKに取り上げられ、全国放映されたことを紹介。北海道のケーブルテレビ事業者が連携を取り映像コンテンツを流通させるなど連携が必要との提言。

・佐藤 英生(大分ケーブルテレコム(株) 社長)

県内CATV事業者等との連携を進めており、今後は全国での映像コンテンツ流通に向け積極的な取り組みを進めていることを紹介。

・都築 伸二(愛媛大学工学部 電気電子工学科 助教授)

松山市における観光情報発信の発信手法についてライブ中継を行いながら紹介。

・梅村 匡史(札幌国際大学 現代社会学部マスコミュニケーション学科 教授)

当検討会での取組みとして道内の商業高校生を対象にした「映像制作出前講座」の紹介。

また、地域映像コンテンツを流通させることが地域活性化に貢献する可能性が高いとして提言。

(3) イベントのスケジュール

回線の試験期間：平成19年1月17日～2月16日

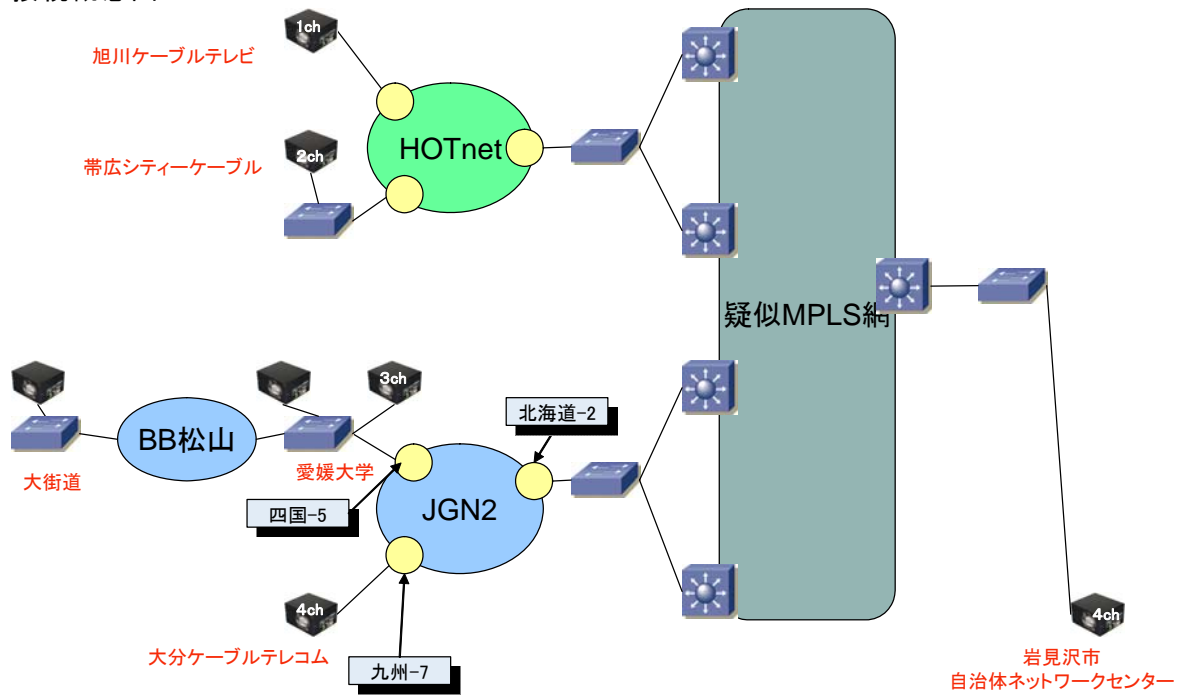
(本番利用期間：平成19年2月14日)

(4)申請者

所属機関： 愛媛大学 工学部

(5)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図



利用期間

平成19年1月17日 ~ 平成19年2月16日

ICT 利活用セミナー 2007 開催状況 (メイン会場：岩見沢)



開 会



主催者挨拶



小学生 (1年生) による遠隔交流授業



遠隔パネルディスカッション



開催状況（サテライト会場：松山）



東雲小学校児童（1年生）



市内市街地からのライブ中継



遠隔パネルディスカッション